

- 2020年農林業センサスによって明らかとなった千葉市農業の現状を踏まえながら、今後も本市農業の持続性を確保していくための基本目標を設定。
- 基本目標の達成に向けた施策の方向性と具体的なアクションプランを示し、着実な進行管理を実施することで基本目標の達成を目指す。
- 近年の農業を取り巻く激しい環境変化に対応するため、計画期間は令和5年度から令和9年度の5年間とする。

## 策定の趣旨

2020年農林業センサス等により明らかとなった千葉市農業の現状や国等の計画を踏まえながら、本市農業を成長産業化し、次世代へと継承するための新しい計画を策定する必要があります。

### 検討のポイントと対応方針

- 農業経営者の減少と高齢化により本市農業の持続性が低下
  - ⇒本市農業の魅力を高め、40代以下の青年農業経営者を確保
- 販売金額の多寡によって農業経営の持続可能性に差が生じている状況
  - ⇒経営力向上に向けた支援を行い、販売金額を増やし、農業経営体の持続性を確保

### 他の計画との整合・調和・連携

- 国・県** 食料・農業・農村基本計画（農林水産省）  
千葉県農林水産業振興計画
  - 千葉市** 上位計画 千葉市基本計画（※）  
関連計画 千葉市環境基本計画 等
- （※）千葉市基本計画（R5-R14）※一部抜粋  
8 地域経済（まちづくりの総合8分野）  
政策3 農林業の持続的な発展を支える  
施策1 農業の成長産業化  
施策2 農業の担い手の確保・育成  
施策3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用

## 基本目標

農業の持続性を高め、100年先の未来に農業と食をつなぐ  
～売上3,000万円以上を目指し、農業が若者に選ばれる職業となるよう、農業の魅力を高める～  
【2030年の目標】①40代以下の青年農業経営者の数を100人、②3,000万円以上の売上規模層を10%

1

### 農業者と農地等の生産基盤に関する施策展開の方向性 農業の担い手を確保・育成し、農業の持続性を確保する

#### 施策

- 新規就農の確保
- 地域の中心的な経営体の育成や家族農業経営の支援
- 農業法人の参入促進
- 優良な農地の確保と意欲ある担い手への集積

#### アクションプラン（主なもの）

- No.1 ニューファーマー育成研修
- No.8 農業後継者への発展支援
- No.10 農業法人等に対する施設・機械導入費等の支援
- No.14 農地情報管理のDX化

2

### 作る技術と売る技術に関する施策展開の方向性 生産力や販売力を強化し、農業を成長産業化させる

#### 施策

- スマート農業技術等の活用支援
- 環境負荷軽減に資する農業技術の振興
- 高付加価値化と販売・PR力の強化
- ニーズに合わせた個別支援の充実
- 災害に強い農林業の実現
- 農業生産基盤整備

#### アクションプラン（主なもの）

- No.17 スマート農業の地域の農業者への展開
- No.19 施設園芸における燃油使用量削減の実証実験の実施
- No.22 食のブランド化推進
- No.25 施設の改修・農業機械の更新等に対する支援
- No.32 農業経営のセーフティネット対策
- No.35 農業用排水対策事業の実施

3

### 農林業が市民生活に与えるめぐみに関する施策展開の方向性 農と森林が持つ多様な機能を保全、活用し、市民に憩いや潤いを与える

#### 施策

- 都市農地の保全と多様な分野での活用促進
- 都市と農村の交流促進
- 農村環境や森林環境の整備・保全

#### アクションプラン（主なもの）

- No.37 消費者や児童生徒への「農育」の実施
- No.41 グリーンツーリズムの推進といずみグリーンビレッジ3拠点施設を活用した地域の活性化
- No.45 有害鳥獣対策の推進

### 都市農業の振興について

農業経営体の減少と高齢化が進む中、若い担い手の確保・育成が喫緊の課題となっており、担い手のすそ野を広げる取組を進めていく必要があるため、将来的な担い手の候補が多くいると思われる都市部においても約200haの農地があるという千葉市の特性を踏まえ、市街化区域内で展開される農業を「都市農業」と位置付け、施策を展開。

### 計画の推進に向けて

本計画の実行性を高めるため、千葉市農政推進協議会において施策・事業の進捗状況や数値目標の達成状況の点検・検証を毎年実施。

## ◆千葉市農業の現状

（出所）2020年農林業センサス

### ✓農業経営者の減少と高齢化

（人、%）

	2005年	2020年	増減率
全体	1859	911	▲51%
40代以下	174	50	▲71%

### ✓販売額が多いほど減少率は鈍化

（人、%）

販売規模	2005年	2020年	減少率
～300万円	1446	658	54%
300～1000	306	163	47%
1000～3000	73	59	19%
3000万円～	34	31	9%

## ◆千葉市農業を取り巻く情勢

### ✓みどりの食料システム戦略

- ・カーボンニュートラル
- ・化学農薬や化学肥料の使用量低減
- ・有機農業の拡大
- ・政策手法のグリーン化

### ✓都市農業に係る各種法改正

- ・都市農業振興基本法
- ・生産緑地法の一部改正
- ・都市農地の賃借の円滑化に関する法律

### ✓スマート農業技術の発展

# 千葉市農業基本計画（令和5年度～令和9年度）の目指す姿

## 農業の持続性を高め、100年先の未来に農業と食をつなぐ

～売上3,000万円以上を目指し、農業が若者に選ばれる職業となるよう、農業の魅力を高める～

### 方向性1 農業の担い手を確保・育成し、農業の持続性を確保する

#### 新規就農の確保

- 地域をけん引する若い農業者の育成
- 施設・機械等の導入支援
- 就農初期の安定的な経営の支援
- 将来の担い手のすそ野を広げる取組



#### 地域の中心的な経営体の育成や家族農業経営の支援

- 地域の担い手の経営発展に向けた機械・施設等の導入支援
- 農業経営改善計画の達成に向けた、講習会や営農指導による支援
- 地域計画への位置付けによる担い手への農地集積

#### 農業法人の参入促進

- 戦略的な農業法人誘致
- ワンストップ窓口支援
- 参入時に導入する施設・機械等の導入経費への支援
- 加工・流通業者との連携に向けたインセンティブの付与
- 雇用確保に向けた支援

担い手

農地

#### 優良な農地の確保と意欲ある担い手への集積

- 農地情報の収集・管理のDX化
- 耕作放棄地の再生及び発生防止に向けた支援



#### 都市農地の保全と多様な分野での活用促進

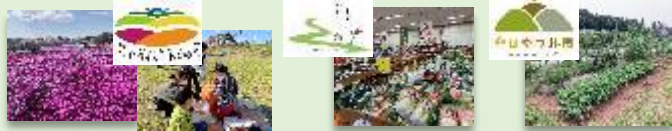
- 次世代農育講座
- 収穫体験
- 生産者出張授業
- 農政センターの見学会
- 農福連携の推進
- 生産緑地の保全
- 市民農園の設置の支援・促進



活用

#### 都市と農村の交流促進

- 大学と連携した地域イベントの開催
- 「千葉市つくたべ」の啓発・推進
- いずみグリーンビレッジ3拠点施設の活用
- 農政センターのコミュニケーションエリアとしての活用検討



交流

### 方向性3 農と森林が持つ多様な機能を保全、活用し、市民に憩いや潤いを与える

### 方向性2 生産力や販売力を強化し、農業を成長産業化させる

#### スマート農業技術等の活用支援

- 技術と農業者のマッチング
- 農業技師のスマート化
- スマート農業機器・機械の整備助成



#### 高付加価値化と販売・PR力の強化

- 食のブランド「千」の推進
- 「千葉市つくたべ」の啓発・推進
- 6次産業化支援



販売力

#### 災害に強い農林業の実現

- BCPの推進と被害状況把握体制の整備
- 野菜価格安定対策と経営所得安定対策
- 災害時に貸し出す発電機の維持管理
- 森林等の安全対策

#### 環境負荷軽減に資する農業技術の振興

- 燃油削減技術の実証実験
- 有機農業等の研究
- 営農型太陽光発電における農業生産技術の研究



生産力

#### ニーズに合わせた個別支援の充実

- 施設の改修・機械の更新等の支援
- 農業技師の技術指導力の強化
- 種苗供給による安定生産支援
- 優良後継牛の確保
- 家畜伝染病発生予防
- 飼料自給に向けた検討
- 農業共済
- 収入保険



#### 農業生産基盤整備

- 農業用排水対策
- 農道整備

#### 農村環境や森林環境の整備・保全

- 有害鳥獣対策
- わな通知システムを活用した捕獲
- 研修会等を通じた担い手の確保・育成
- 農地・農村の水環境施設の維持管理
- 地域森林の保全管理
- 森林ボランティアへの支援
- 森林体験教室
- きのこ栽培体験

保全

